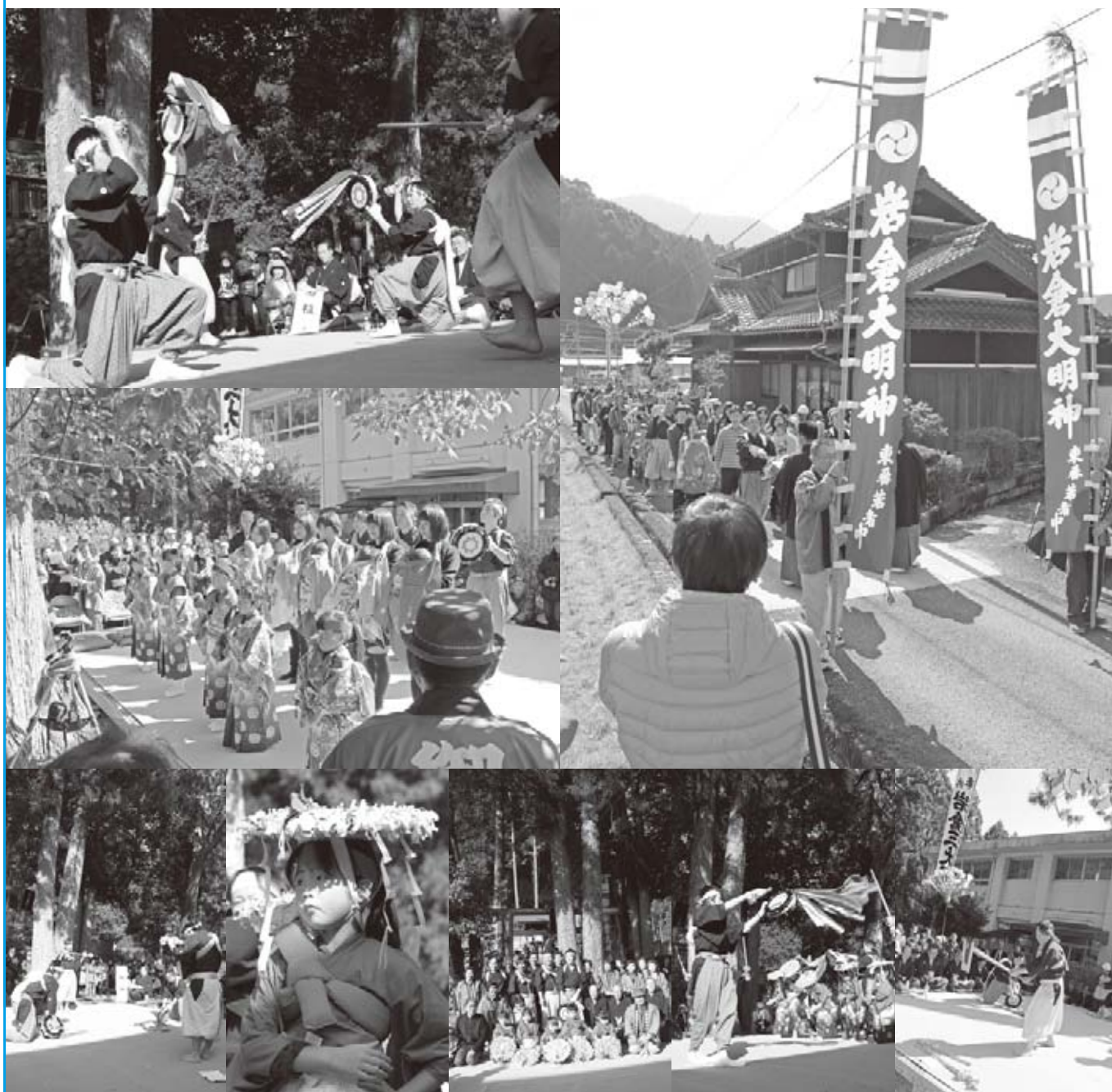


まちのわだい

県指定無形民俗文化財 久野原の御田(おんだ)



2月11日(水)、久野原の岩倉神社境内で県指定無形民俗文化財の「久野原の御田」が奉納されました。これは、久野原・岩倉神社で稲作の生産過程を模倣的に演じることによって、その年の豊穰を祈願する予祝行事です。地区の住民の手によって、大切に伝承され隔年(西暦奇数年)の2月11日に公開されています。

「御田」が奉納される久野原岩倉神社までは幟^{のぼり}2本を先頭に、御田関係者が全員参加し、太鼓に合わせて謡^{うたいばやし}離子を唄いながら肅々と神社に歩いて行きました。新春の風物詩である、この行列は「お渡り」と呼ばれています。(表紙)

境内に到着し拝礼した後、舞の奉納が行われました。全国に伝承されている御田のほとんどが田植えまでで終わるといわれていますが、田おこしから収穫までの全生産過程、さらに^{もみす}籾摺り、籾供えまでを含んでおり、芸能的にも特色あるものとなっています。また、御田に登場する田植子がとても愛らしく、ほのぼのとした演技が展開されました。

今年は気候に恵まれ、青空の下で披露されました。2年に1度しか行われない伝統芸能に観光客が大勢詰めかけ、見事な演技に見入られ、舞終わると盛大な拍手が送られました。